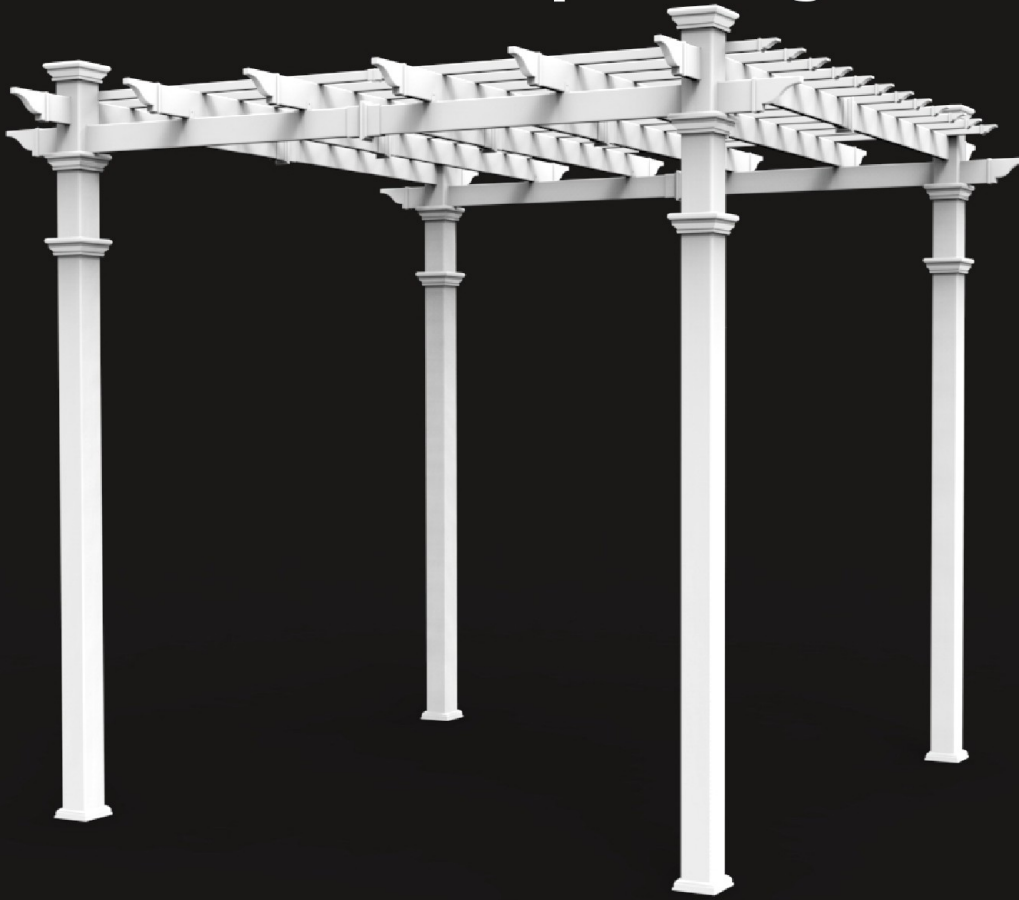


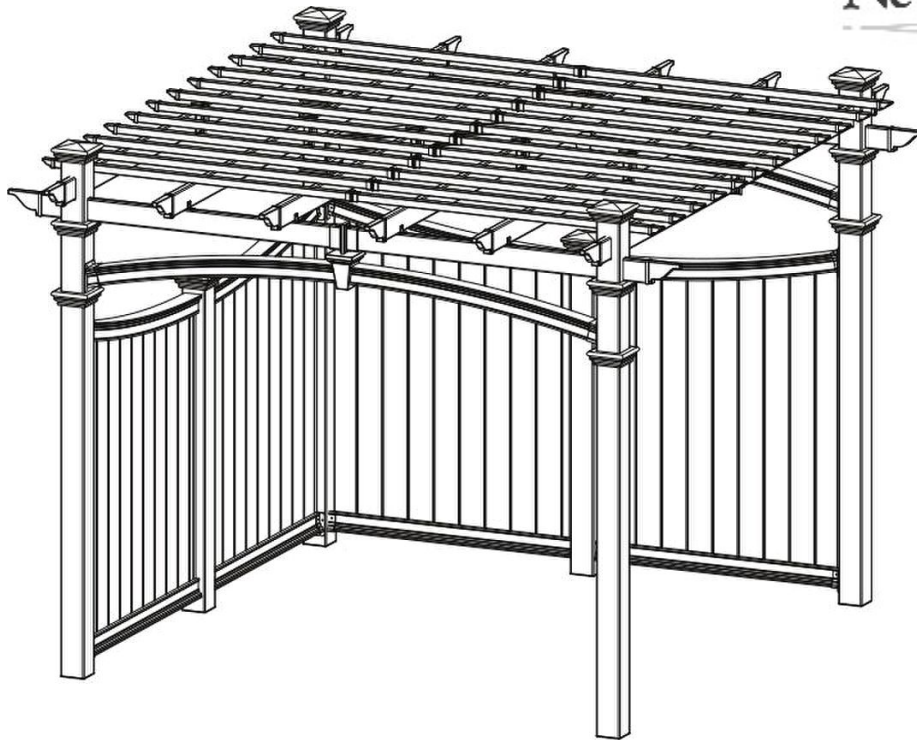
# 10x10 Flat Top Pergola



Models: **Venetian Pergola**

## 10 x 10 Flat Top Pergola

	PAGE
まずはじめに	3
各部品名と概要	4
各部品の内訳	5
付属部品リスト	6
設置方法 (ステップ 1.2)	7
設置方法 (ステップ 3)	8
設置方法 (ステップ 4)	9
設置方法 (ステップ 5)	10
設置方法 (ステップ 6)	11
設置方法 (ステップ 7)	12
設置方法 (ステップ 8)	13
設置方法 (ステップ 9)	14



## まずはじめに・・・

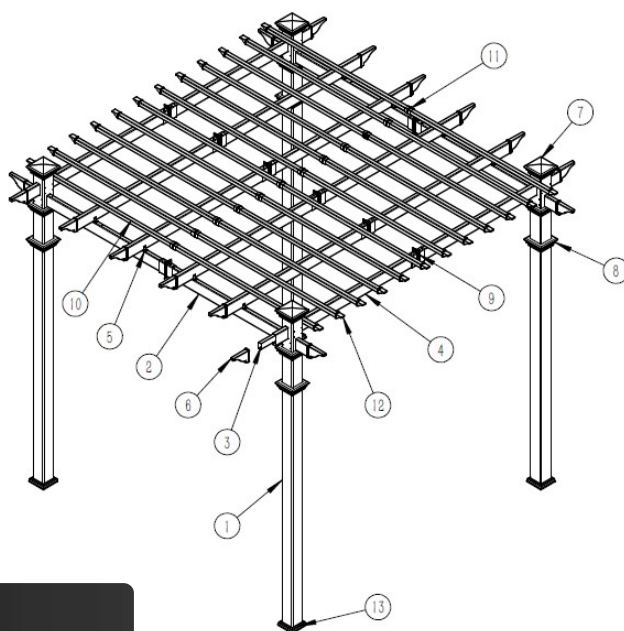
このたびは、当店の商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
この商品を安全に正しく施工していただくため、この「取付・施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本取付・施工説明書に記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合の保証は致しかねます。

## 施工上のご注意

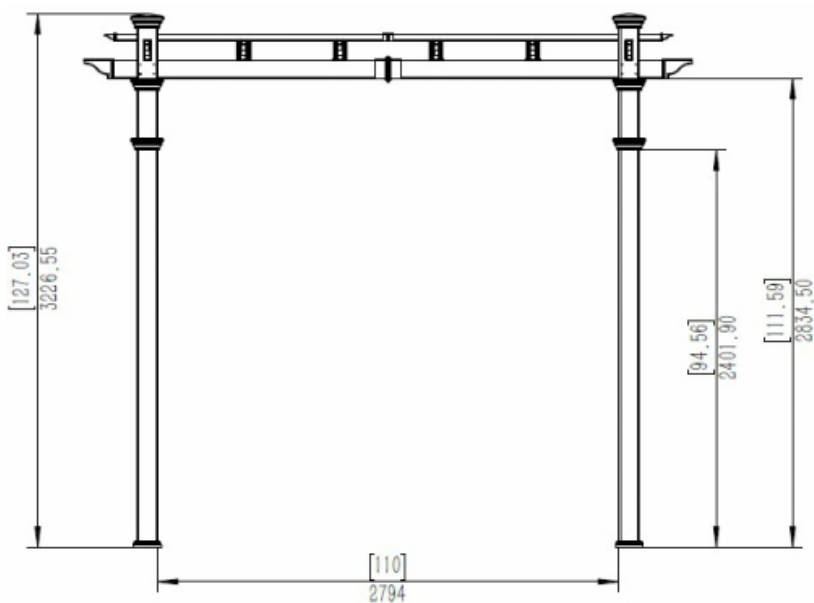
- 商品の取付・施工については必ず本取付・施工説明書に従って行ってください。また、施工終了後、この取付・施工説明書を施主様にお渡しすると共に、取扱方法およびメンテナンスについて十分ご説明ください。
- 事前に設置場所を確認し、ポストとパネルの位置関係を調整してから施工してください。
- 基礎は当社が指定する寸法以上にしてください。風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工では、基礎寸法を大きくするなどの安全対策を行い、ポストの固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
- 寒冷地においては、都道府県が定める各地域の凍結深度をご確認のうえ、基礎コンクリートの深さを、凍結深度よりも深い位置まで掘り下げて設置してください。
- 組み付けの際には設置場所に障害物などがないか確認してください。取付・施工完了後にゆるみがないか再点検し、施工の汚れを取り除いてください。
- この商品は一般住宅地用です。それ以外の場所には設置しないでください。
- 火気の近くや高温になる場所に施工しないでください。商品の変形や火災の原因となります。
- モルタルやコンクリートに凝結促進材、凍結防止剤、減水促進材や海砂を使用しないでください。塩分が多量に含まれていますので腐食の原因となります。コンクリートは製品に記載されている配合率や注意事項に従ってください。養生期間(4~7日)は十分に確保し、養生期間中は重量物を載せたり、振動させたり、物を立てかけたりはしないでください。
- モルタルやコンクリートの抽出液やモルタルやコンクリートが、工事中に商品に付着しないように注意してください。付着した場合は、すみやかに洗浄してください。抽出液は強アルカリ性で、染みやムラなどの外観不良の原因となります。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合には、商品と直接触れないようにしていただくか、接触部分を十分に養生処理してください。
- 腐食成分(塩素イオンなど)を多く含んでいる輸入木材の併用は避けてください。もし使用される場合は、接触する部分の木材に塗装するなどの処理を行ってください。
- 商品を使用目的と異なる改造や変更をされた場合には、保証の対象外となります。
- 商品を揺すったり、寄りかかったり、上にのぼったり、ぶらさがったりしないでください。破損の原因となります。



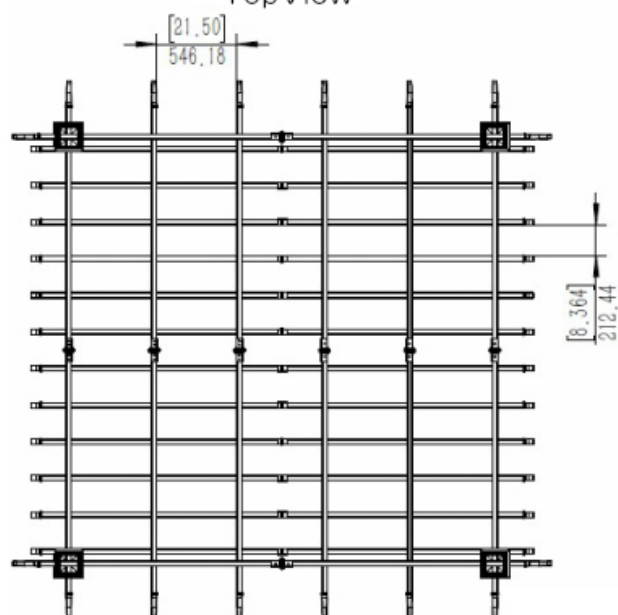
各部品名と概要

No.	名称	数量	梱包
1	ポスト (長さ 3200mm) アルミニウム芯材入り	4	Pack-6,7(各 2 本)
2	桁 (長さ 1664.7mm)	4	Pack-2
3	桁・垂木用アルミニウム芯材 (長さ 3344mm)	8	Pack-4
4	垂木 (長さ 1664.7mm)	12	Pack-2(4 本),Pack-3(8 本)
5	垂木用ブラケット	8	Pack-1
6	エンドキャップ	16	
7	ポストキャップ	4	
8	ポストトリム	8	
9	桁・垂木用ジョイント	8	
10	野縁 (長さ 1656mm)	24	Pack-5
11	野縁用ジョイント	12	Pack-1
12	野縁用エンドキャップ	24	
13	ポストスカート	4	

SideView

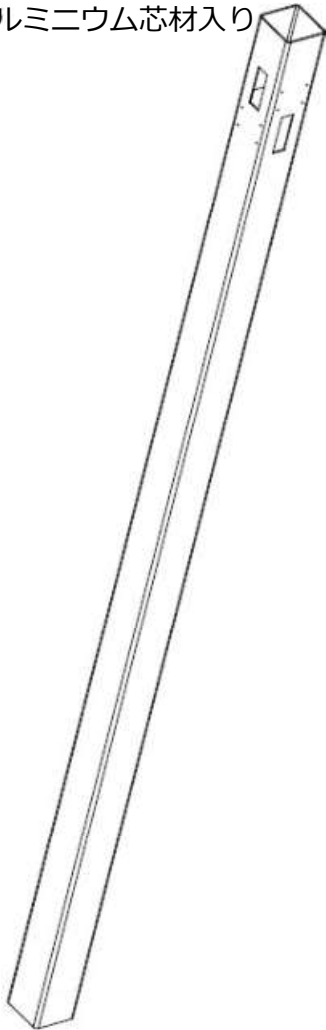


TopView



## 各部品の内訳

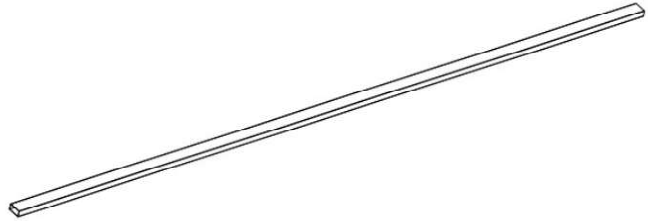
- ①ポスト（長さ 3200mm）×4  
アルミニウム芯材入り



- ②桁（長さ 1664.7mm）×4



- ③桁・垂木用アルミニウム芯材（長さ 3344mm）×8



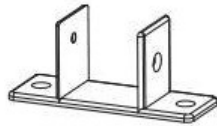
- ④垂木（長さ 1664.7mm）×12



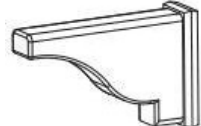
- ⑩野縁（長さ 1656mm）×24



- ⑤垂木用ブラケット×8



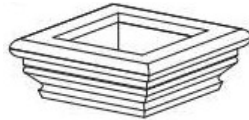
- ⑥エンドキャップ×16



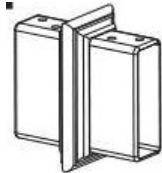
- ⑦ポストキャップ×4



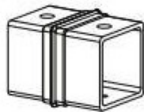
- ⑧ポストトリム×8



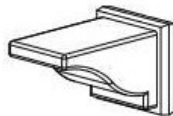
- ⑨垂木用ジョイント×8



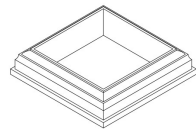
- ⑪野縁用ジョイント×12



- ⑫野縁用エンドキャップ×24



- ⑬ポストスカート×4

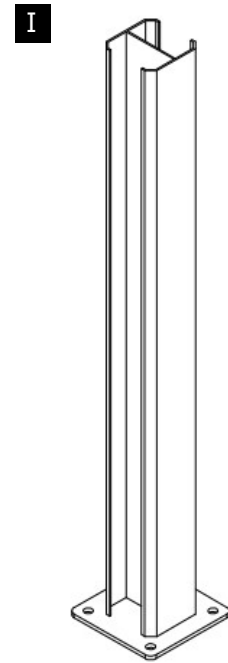
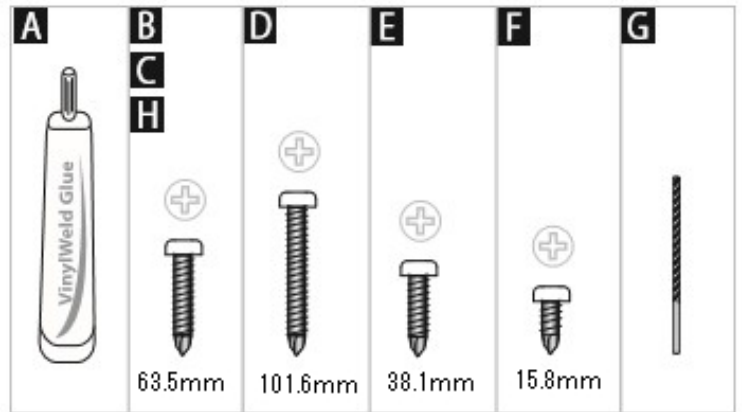


## 付属部品リスト

### ハードウェア (数量)

ご注意：約 10%の予備ねじが含まれています

- A. PVC ボンド(3)
- B. 63.5mmセルフタッピングスクリュー(16)  
ポストとアルミニウム芯材を裾で固定します
- C. 63.5mmセルフタッピングスクリュー(16)  
ポストトリム上部、ポストとアルミニウム芯材を固定します
- D. 101.6mmセルフタッピングスクリュー(64)  
ポストに差し込まれた桁と垂木をポストに固定します
- E. 38.1mmセルフタッピングスクリュー(48)  
桁と垂木のジョイントで使用します
- F. 15.8mmセルフタッピングスクリュー(32)  
垂木のブラケットで使用します
- G. 3.17Φドリルビット(1)
- H. 63.5mmセルフタッピングスクリュー(72)  
野縁を垂木に固定します



### オプション部品

- I. 5 インチポストマウントベース(4)  
コンクリート土間に設置する場合に使用します

## 地中根入でポストを設置する場合

(コンクリート土間に設置する場合このステップを飛ばしてステップ 3 から進めてください)

ポストを設置する位置決めが最も重要なプロセスとなります。

いま一度ポストの位置を十分に確認し慎重に作業を進めてください。

### ステップ 1

右の図を参考に水糸を使用して基礎の位置を決めます。

2つの対角線の距離は正方形を維持するために同じでなければなりません。

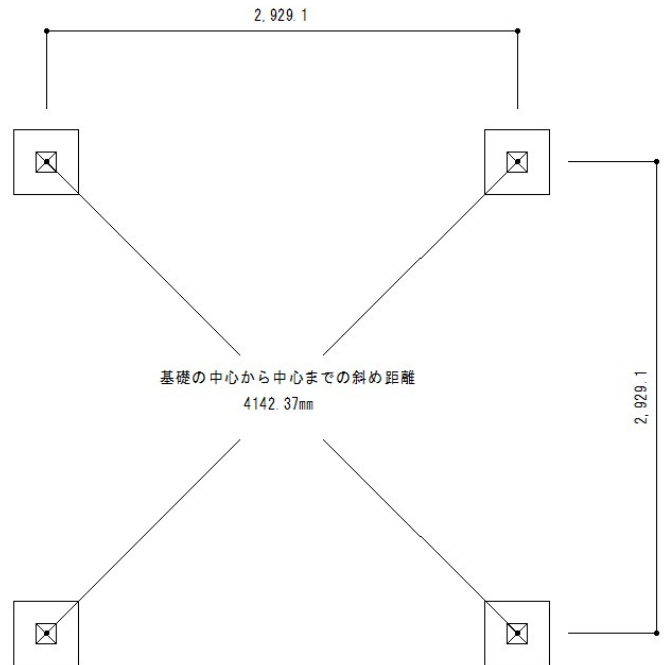
#### パーゴラのサイズを変更する場合

まずはじめに、この施工説明書を最後までお読みいただき、切断寸法やポストを設置する位置など、よく確認してから施工してください。

パーゴラのサイズ変更をする場合、電動の丸ノコで各部材を切断することができます。

アルミニウム切断用の刃を使用するならばアルミの補強材も切断することができます。

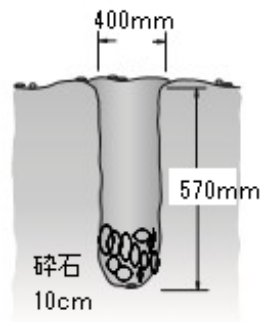
安全に十分に注意して作業を進めてください。



### ステップ 2

ポストを設置する4か所に、幅400mm深さ570mm以上の穴を掘ります。穴の底に碎石を100mm敷いてよく踏み固めます。

地盤のゆるいところでは、基礎の幅をさらに大きくしてください。割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。



次にステップ 4 に進んでください。

ステップ 9 まで進みましたら、最後に垂直、水平をよく確認しコンクリートを穴に投入して完成です。



## ステップ 4

### ポストを組み立てます

① ポストとアルミニウム芯材(ポストマウントベース)を用意します。

② ポストにアルミニウム芯材を挿入します。アルミニウム芯材は2サイドオープンとなっています。

後からビスを打ちますので、ステップ3の図のように、すべて同じ向きに挿入することをお勧めします。

③ アルミニウム芯材とポストの裾(地中根入で隠れる場所もしくはポストスカート内に隠れる場所)に電動ドリルドライバーを使用して、4本のビスで固定します。

予め付属のドリルビットを使用して下穴を開けてから63.5mmセルフタッピングスクリューを打ち込んでください。

④ ポストスカート5インチを、上から履かせます。

⑤ ポストトリムを各柱に2個上からスライドさせて履かせます。

⑥ 下のポストトリムはポスト下段の穴の下端より約50cm付近に取り付けます。

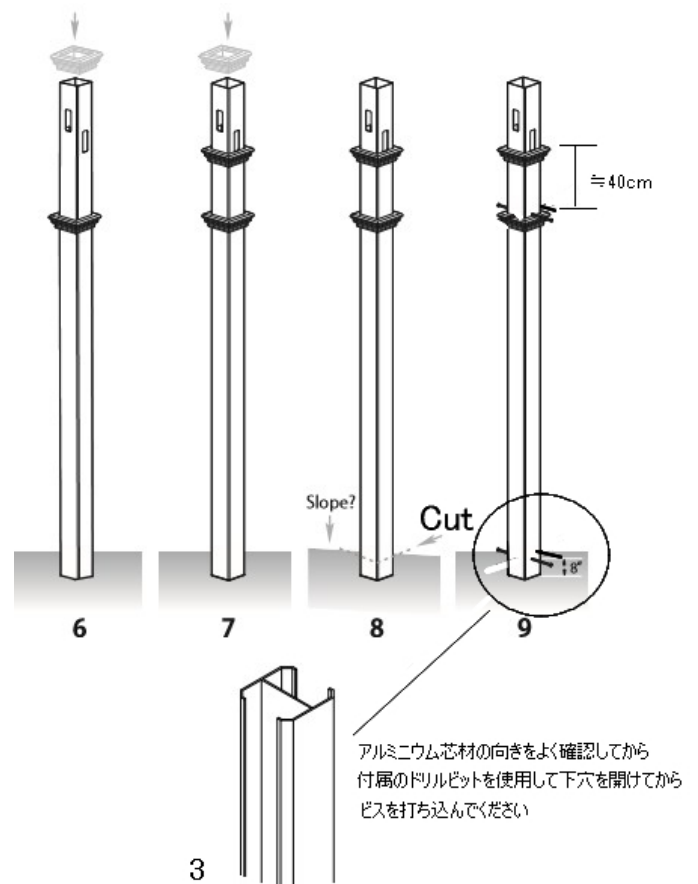
⑦ 上のポストトリムは下段の穴の下端付近にポストトリムをスライドさせます。

⑧ 勾配のある場所に設置する場合、水平に桁や垂木が設置できるようポストの高さを調整します。

もし高低差が大きい場合、桁や垂木が水平になるようにポストを切断して高さを調整してください。

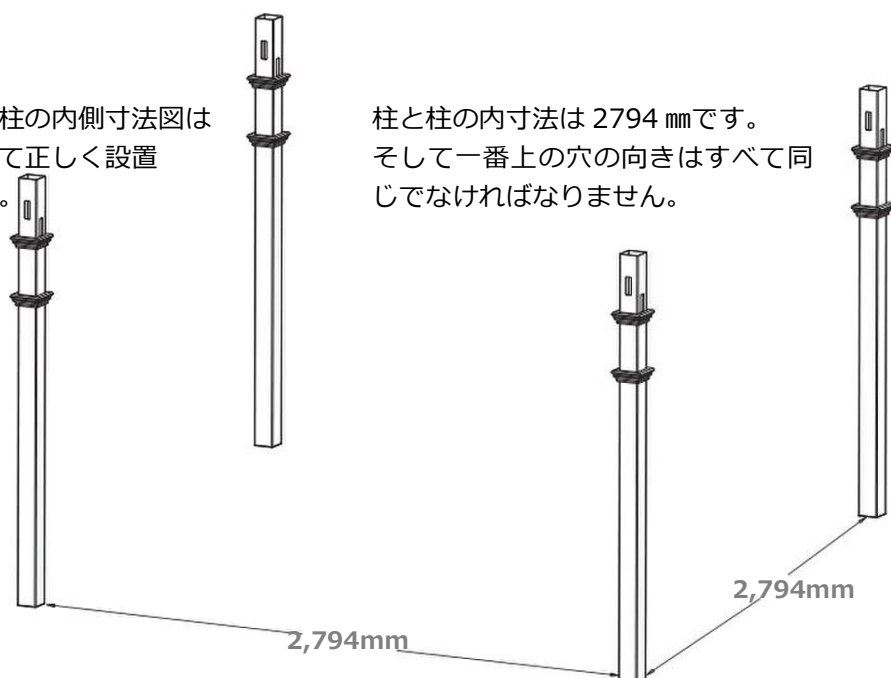
⑨ ⑥で取り付けただのポストトリムのすぐ上の位置に、電動ドリルドライバーを使用して、63.5mmセルフタッピングスクリュー4本でポストと5インチポストマウントベースとを固定します。

アルミニウム芯材の向きをよく確認してから、付属のドリルビットで下穴を開けてからねじを打ち込んでください。これらの作業は強風などからの揺れを防ぐ為です。



この段階で、柱の内側寸法図はこの図に従って正しく設置してください。

柱と柱の内寸法は 2794 mm です。そして一番上の穴の向きはすべて同じでなければなりません。



## ステップ5

### 桁の組み立て方法

① 桁材の端をジョイントに差し込みます。木口から見てポケットの大きい方が上となります。

ジョイントは4つのネジ穴のある側が上を向きます。奥までしっかりと差し込んでください。

② アルミニウム補強材を、大きいポケットに挿入します。

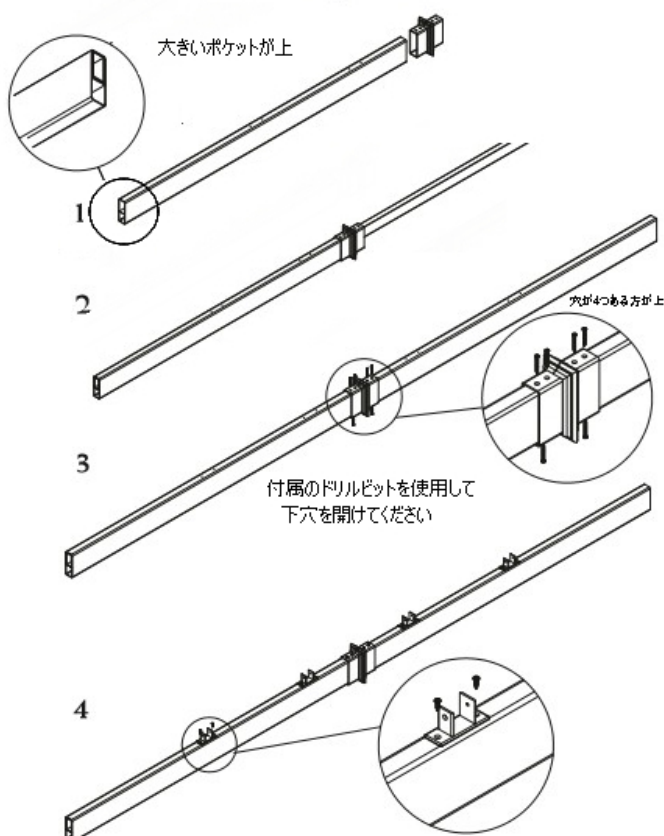
③ もう一方の桁材のアルミニウム補強材にかぶせてジョイントにしっかりと差し込みます。

同じ作業をもう一つ繰り返し、合計2本桁材を作成します。

④ 38.1mmセルフタッピングスクリューを使用して桁材とアルミニウム補強材をジョイントの上から止めます。

付属のドリルビットを使用してジョイントの上部と下部に下穴を開けてから打ち込んでください。

⑤ 15.8mmセルフタッピングスクリューを使用して、桁材に垂木用ブラケットを取り付けます。あらかじめ開けられたねじ穴に従って取り付けてください。付属のドリルビットを使用して下穴を開けてから打ち込んでください。



## ステップ6

### 垂木の組み立て方法

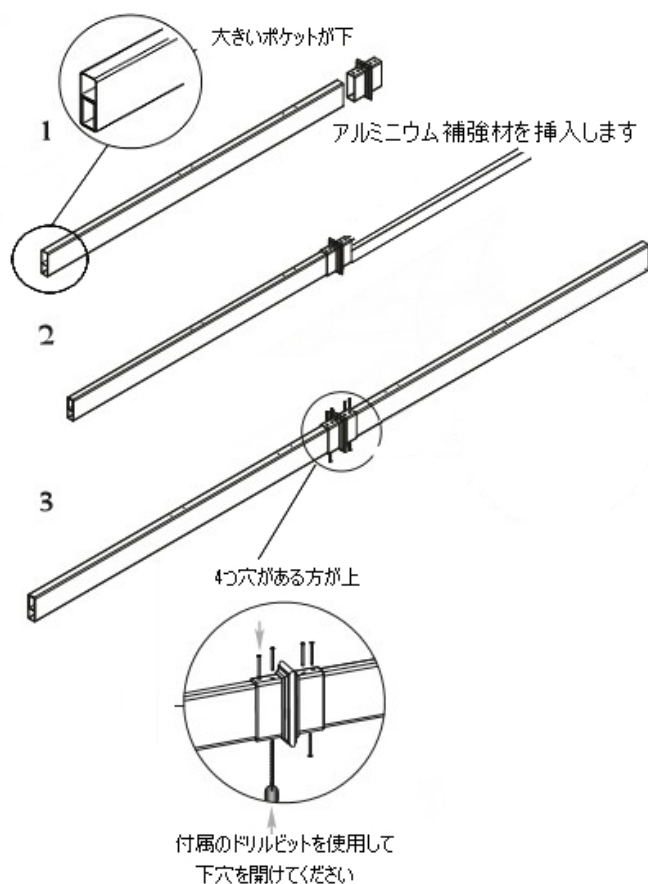
① 垂木材をジョイントに差し込みます。木口から見てポケットの大きい方が下となります。

ジョイントは4つのネジ穴のある側が上を向きます。奥までしっかりと差し込んでください。

② アルミ補強材を、大きいポケットに挿入します。

③ もう一方の垂木材をアルミ補強材にかぶせてジョイントにしっかりと差し込みます。同じ作業を繰り返して、合計6セットの垂木を作成します。

④ 38.1mmセルフタッピングスクリューを使用して桁とアルミ補強材を垂木用ジョイントの上から止めます。付属のドリルビットを使用してジョイントの上部と下部に下穴を開けてから打ち込んでください。



## ステップ7

### 桁と垂木を設置します

ここからのステップは、2基のはしごを使用し、二人で作業を進めてください。

① 桁材にあらかじめ開けられた下穴に従って垂木用ブラケットを取り付けます。アルミニウム芯材が入っていますので、付属のドリルビットを使用して下穴を開けてから15.8mmセルフタッピングスクリューを電動ドリルドライバーで打ち込みます。

その後2本の桁材をそれぞれトップポストの下端の穴に内側からスライドさせて差し込み、一旦スライドバックさせて反対側のトップポストにも差し込んで設置します。

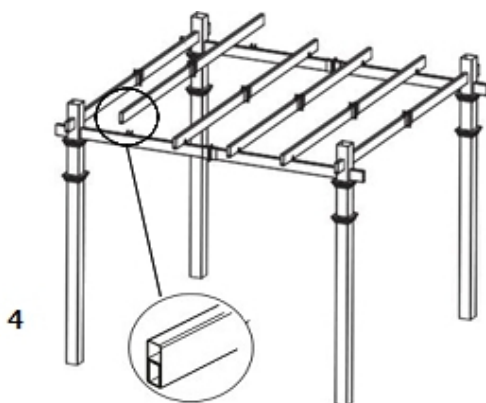
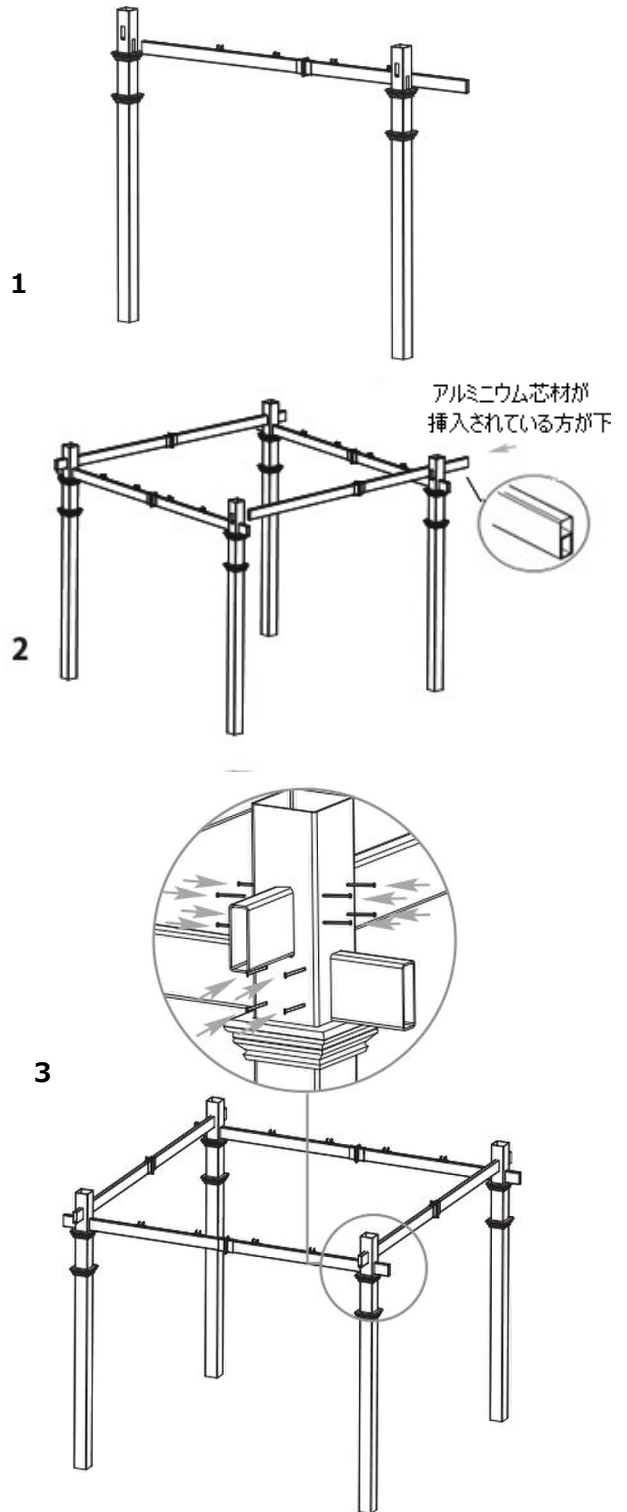
② ポスト上段の両側面に開けられた垂木用の穴に、垂木を挿入して設置します。それぞれ内側から差し込み、一旦スライドバックさせて反対側のトップポストにも差し込んで設置します。この際アルミニウム芯材が挿入されている方が下を向きます。

③ 桁と垂木が水平であるか目視で最終確認してください。101.6mmセルフタッピングスクリューを使用してトップポストの内と外から各4本ずつ打ち込み固定します。アルミニウム芯材が入っていますので、ねじを打ち込む際に付属のドリルビットを使用して下穴を開けてから打ち込んでください。

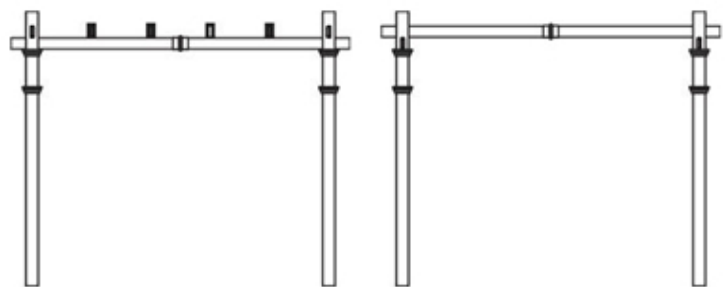
④ 桁材に取り付けた垂木用ブラケットに垂木を設置します。

⑤ 垂木の最終確認です。

垂木の間隔、②で取り付けした垂木との位置関係など目で見えて確認してください。

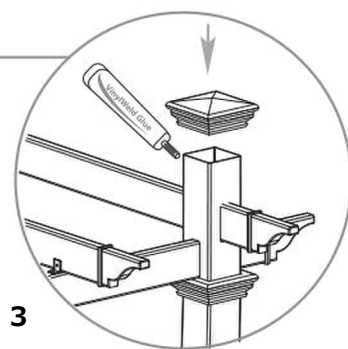
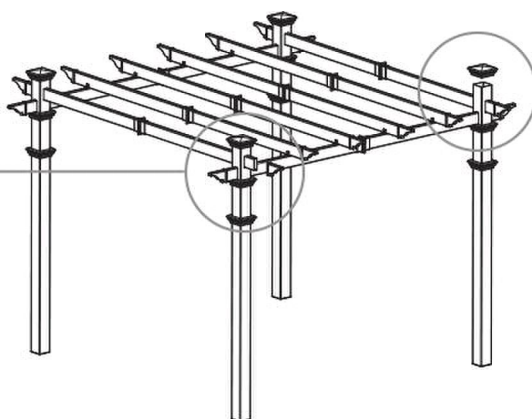
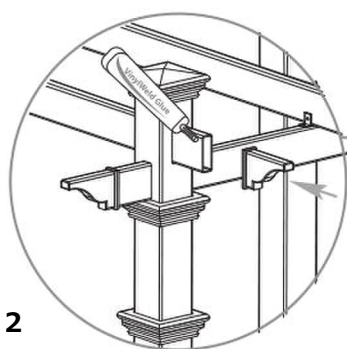
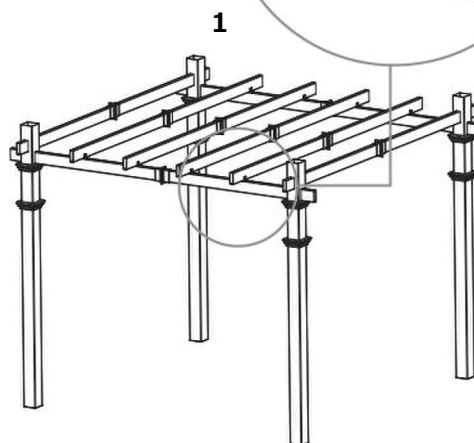
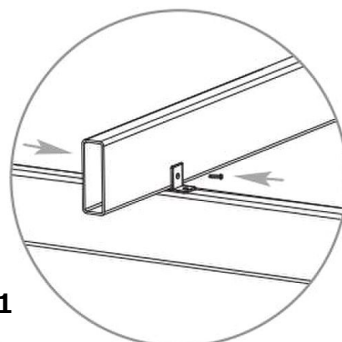


アルミニウム芯材が入っている方が下



## ステップ 8

- ① 15.8mmセルフタッピングスクリューを使用して垂木を垂木用ブラケットと固定します。付属のドリルビットを使用して下穴を開けてからビスを打ち込んでください。
- ② 桁と垂木に付属のPVCボンドを使用してキャップを取り付けます。
- ③ ポストの先端に付属のPVCボンドを使用してキャップを取り付けます。
- ④ ポストトリムの位置を調整します。



## ステップ9

### 野縁を組み立てます

① 野縁の先に付属のPVCボンドを使用して野縁用キャップを取り付けます。

そしてPVCボンドを使用してジョイントと2本の野縁をつなげます。

ジョイントの奥までしっかりと差し込んでください。

ねじは使用しません。(ねじは付属していません)

1

2

3

4

### 野縁を設置します

38.1mm角の野縁は212mm間隔で設置するように設計しています。

野縁はキャップも含めて約209mm垂木よりもはみ出るように設計しています。

最終的に野縁が垂木からはみ出る距離がすべて同じ長さとなります。

② 1本目の野縁を垂木に設置します。

③ 212mm間隔で残りの野縁を設置します。

④ 18.5mmのセルフタッピングスクリューを使用してすべての野縁を垂木に固定します。

### 廃棄について

現場で発生しました残材等につきましては、各地域の条例に従って正しく処分してください。

New England  
Arbors

